

ウィズセンター情報誌

With

2012
spring
Vol.60

農業の未来は女性がひらく

ご存じですか?デートDV



農業の未来は女性がひらく

～仲間とともに、改革、実践、行動を!～

JA(農協)グループでは、女性組織をJA運動の重要な担い手として位置付けて「正組合員の25%以上、総代の10%以上、理事等は2名以上」という数値目標を掲げ、女性の参画に取り組んでいます。

昨年6月、JA全国女性組織協議会の会長に就任され、女性参画の先頭に立つ瀬良静香さんにお話を伺いました。

Q: 農業分野での男女共同参画の現状をどのようにご覧になりますか?

A: 農業は6割が女性、いえ、兼業農家や家庭菜園なども含めると、7～8割は女性が担っていると言えるかもしれません。にもかかわらず、意思決定の場に女性の参画が非常に少ないのが現状です。総論では女性の参画に賛成する男性は多いのですが、各論になると「どうして女性が参画しなければならないのか?」という意見が出てきます。

農業を含む社会のあらゆる分野において、「2020年までに指導的地位に女性が占める割合を30%に」という国の目標もあり、JAでも女性の正組合員率25%の実現に向けて一生懸命取り組んでいます。また、総代選挙などにおいても、「推挙されたら、後へは引かずに引き受けよう!」という気構えでいますが、男性の意識がまだ追いついていないようで、私の所属するJA岡山西では、現在620名の総代のうち女性は22名です。意欲や能力があっても、女性を受け入れる土壌が整っていないのが実情です。

JAにおいても管理職への女性の登用は少なく、農業分野では男女共同参画が遅れていると言わざるを得ません。

Q: JA女性部の現在の活動状況を教えてください。

A: 県内に9つある女性部で「JA岡山西女性組織協議会」を組織しています。

主な活動として、知識や教養をさらに高めていこうと、各女性部に「女性大学」の開講を勧めています。また、部員の健康づくりとふれあいを深めるお手玉活動が年々盛んになり、今年2月に桃太郎アリーナ(岡山市北区)で開催した「お手玉大会」には、県下から約260人が参集し、技を競い合いました。審判員の資格取得なども推進し、レベルアップを図っています。

味噌などの加工品を直売所へ出品するなど6次産業化※を実現し、農業所得を増やしていくことも目標の一つです。

こうした活動を多くの人に知っていただくため、県内の各JAが発行する情報誌に掲載してもらうよう働きかけたり、女性部独自のホームページを設けるなど、情報発信には特に力を入れているところです。最近、JA岡山西女性部では、地産地消をテーマに果物王国おかやまをPRするCDを作成し、さまざまなイベントで歌ったり踊ったりしています。

※6次産業化…地域で生産(1次産業)した農林水産物を素材として、商品加工(2次産業)することで付加価値を高め、流通・販売(3次産業)まで一体的に手がけること。

このほか、地域の農業の状況や「食」の大切さを伝えようと、子どもたちを対象にしたイベントも開催しています。



Q: JA運営への女性の参画を増やしていくための具体的な戦略をお聞かせください。

A: とにかく「行動するのみ!」です。体を動かし、足を使ってお願いをしていく。目標も実績も具体的な数値を示して見えるかたちにし、達成に向けて行動する。そして、結果を踏まえて、また行動する。「毎日が改革、毎日が実践、その上に立って反省を」と自分自身に言い聞かせながら、日々行動しています。

「人を育てる」ということも大きな要素です。女性総代の割合を10%にする目標を立てていますが、それに向けて要望書を提出するなど、具体的な手段や策をみんなで提案していこうと言っています。「人が育っていく」ということは「組織が強くなる」ということにつながります。気がきがでできるリーダーを育てることも大切だと考えています。

Q: 女性部の活動は活発に行われているようですが、取り組んでいる皆さんの感想はどうですか?

また、今後に向けての課題があれば教えてください。

A: 皆さん、楽しみながら取り組まれています。お金ではなくて、達成感や充実感を求めているのではないのでしょうか。役をもらったときは大変ですが、役をこなす中で人との出会いがあり、視野も広がって自分自身も成長できます。

私も、忙しい会長職を引き受けた時はどうなることかと思いましたが、家族や女性部の仲間の皆さんに支えられながら活動しています。

今後は「ハウレンソウ(報告・連絡・相談)」を徹底し、意思疎通を図りながら、みんなの気持ちを一つの方向に向けていきたいと思っています。

Q: 農業経営や農業団体・行政などの立案・方針決定の場に女性が参画していくためには、何が重要だと思われますか?

A: 「役が人を育てる」と言いますが、まずは「責任を持って引き受ける」こと。受けたからには逃げずに全うするという覚悟が必要です。

それから「心を入れる」ということ。おもてなしや思いやりの心を忘れない、ということも大切ではないでしょうか。

J Aなどの組織においては、トップダウンも必要ですね。女性の参画について、長い目で見守って、時には相談に乗ってくれたり、バックアップしてくれる人も必要です。同性はもちろんですが、男性の良き理解者がいてくださることは支えになり、本当に心強いと思います。

Q: J A全国女性組織協議会の会長として、今後の抱負をお聞かせください。

A: 男女共同参画を推し進めていきたいです。これがすべてを物語ると思っています。どういうふうに舵取りをしていけばよいかを考えながら、共同参画の情報をしっかりと発信していきたいです。

私たち女性は、農業者であると同時に消費者であり、また命を育む母でもあります。命の根源は「食」です。「四里四方に病なし（地元で採れる食材を食べることが健康によい）」と言われるように、特に地産地消による食育が大切だと考えています。このことをしっかりと次世代に伝えていきたいです。

Q: これからの日本の農業への期待、そして日本を支える若者たちへ、メッセージをお願いします。

A: 若者にとって、「農業をやった良かった！」と思えるような魅力のある農業になればと思います。

これは国や県の政策としてぜひ取り組んでいただきたい。農業が魅力的になるということは、すなわち、「食」の問題の回復につなが



ります。

将来に希望の持てる農業になれば、若い人たちの選択肢も広がり、活力のある日本へもつながっていくのではないのでしょうか。

また、私は畑などで農作業をし、土に触れていると、不思議なことですが、どんなに疲れた時でも心が癒やされていくのを感じます。農業は「つらい」というイメージがあるかもしれませんが、もともと日本人は農耕民族。作物が育っていく様子を見る喜びは言うまでもありませんが、土に触れるということには、気持ちを落ち着かせ、リフレッシュさせてくれる作用もあるようです。

農業の楽しさを、若い世代の皆さんにも知っていただきたいと思います。

JA岡山西 「第5回男女共同参画のつどい」

(平成24年1月18日開催)



女性部員やJAの役職員など約240名が参加し、パネルディスカッションや講演会が開催されました。

「社交性があり、家庭や地域で潤滑油となっている女性の特性を、今後の事業展開に生かせるはずである」、「直売所では女性の前向きな取り組みが目立つ。TPPなどグローバル化の対局にあるのがローカルフードであり、その拠点である直売所はJA運営の核になるものと注目している」といった女性の活躍を期待する意見が交わされました。

岡山県内約15,000人の部員をまとめながら、J A全国女性組織協議会の会長としても忙しい毎日を送っている瀬良さんですが、インタビューの間中、力強く、にこやかに、元気よく語っていただきました。

そのリーダーシップと前向きな姿勢はどこからくるのだろうと思ひながらお話を伺いましたが、元J Aの職員で、女性管理職の先駆けとして課長や支所長を務め、若手の職員のお手本たるべく絶えず先頭を走ってこられたお話から、なるほどと納得しました。「目標にしている」との若い職員の声を聞いてうれしく思うと同時に、若い人に恥じない自分でありたい、若い人たちの道標になれたらと、今なお自分自身を律しています。「男性に負けてはいられないし、女性は男性の5倍努力しないと認めてもらえない」と、その姿勢はどこま

でも意欲的です。

そんな瀬良さんを家庭で支えているのが、良き理解者である夫です。出張などで家を空けることも多いそうですが、「体に気を付けて頑張ってらっしゃい」と送り出してくれるそうです。「家族の理解があってこそその活動です。本当に私は恵まれていると思います」と、もちろん感謝の気持ちも忘れません。

輝くような笑顔で男女共同参画実現への思いを語ってくださった瀬良さん。近い将来、目標を達成し、農業分野での意思決定の場に女性が当たり前に参加できる日が来ればいいですね。

(取材：情報交流員 小林)

ご存じですか？

デートDV



「デートDV」という言葉を聞いたことがありますか？

DV(ドメスティック・バイオレンス)は、さまざまな方法を繰り返し使って相手を怖がらせ、支配し、自分の思い通りにしようとする行為ですが、夫婦間だけでなく、最近は高校生や大学生などの若い恋人同士の間でも広がり、「デートDV」と呼ばれています。

親密な交際関係で起こるものなので周りからは分かりにくく、また、被害にあっていることに気付いてさえいない若者も多くいます。いじめと同じく、親や学校の先生には相談しづらいと考えるため、問題をひとりで抱え込んでしまいがちです。被害が続き、深刻になってくると、こころの病やリストカットなどの自傷行為につながったり、ストーカー行為から悲惨な事件に発展するケースもあります。

これって恋愛？それともデートDV？

Aさんの場合

男友達からメールが届くと嫉妬し、勝手にアドレスを消去された。彼からの電話やメールにはすぐに返事をしないと怒られるので、食事中も携帯電話が手放せない。



Cさんの場合

デート代は男子が払うのが普通だと、いつもお金を払わされる。別れ話をすると「死んでやる」と脅かされ、なかなか別れることができない。



Bさんの場合

彼女から1日に何回も電話やメールが来る。初めはうれしかったが、夜どおしメールが届き、何十通も着信履歴があるのを見ると、なんだか怖い。



Dさんの場合

すぐ不機嫌になって無視したり、怒鳴ったり、物をけったりするけど、その後は必ずやさしくなる。彼と会うときは、怒らせないようにいつも気を付けている。

これらは、すべてデートDVです！

デートDVのさまざまなかたち (いろいろな種類の暴力が組み合わさって同時に起こるのが特徴です。)

身体的暴力

- ・殴る ・ける ・物を投げつける ・突き飛ばす ・首を絞める ・引きずる
- ・髪の毛を引っ張る ・壁や床に頭を押しつける ・足で踏みつける など

精神的暴力

- ・大声で怒鳴る ・にらむ ・ひどい言葉でののしる ・いつも皮肉や嫌みを言う
- ・すぐ不機嫌になって無視する ・気分次第で急に怒ったり、責めたりする など

社会的暴力

- ・携帯電話のメールや着信履歴を勝手に見る
- ・友人の電話番号やメールアドレスを勝手に消去する
- ・常に居場所を報告させるなど、行動を監視する ・家族や友人関係を制限する など

性的暴力

- ・嫌がっているのに無理やりキスやセックスする ・下着姿や裸の写真を無理やり撮る
- ・避妊に協力しない ・見たくないのにアダルト雑誌やDVDを見せる など

経済的暴力

- ・デートの費用をいつも払わせる ・お金を借りたまま返さない ・借金をさせる
- ・高価なプレゼントを要求する ・アルバイトをさせる (または、させない) など

デートDVはなぜ起こるの？

- 「女らしく（優しく控えめに）」「男らしく（強くたくましく）」、「女は男に従うものだ」といった、相手を対等とみない価値観、暴力を甘くみる風潮が根強くはびこっている。
- 相手を信頼し尊重するよりも、「自分と恋人は一体」で、束縛や嫉妬が愛情表現だと思っている。
- 「自分らしくいられる居場所がない」という空虚感や孤独感から、「交際相手からの束縛」に自分の存在意義を見だし、依存してしまう。
- 携帯電話が、寂しさを紛らわせるための異性との出会いの手段（出会い系サイト）となったり、交際が始まると相手を監視・束縛するためのツールとなっている。

ご自身や、周りの方が、交際相手のことで悩んでいたら…

もし心配なことがあれば、専門の相談機関に相談してみましょう。一人では気付かなかった解決方法が見つかるかもしれません。

「着信音が鳴るたびにびくびくしている」「交際は続けているようだが、相手の話を急にしつらなくなった」

周りの方にこんな様子があったら、声をかけて話をじっくり聴いてみてください。

その際に、いきなり「別れなさい」は禁句です。「別れたくても怖くて別れられない」と混乱していたり、「交際相手を理解してあげられるのは自分だけ」と思い込んでいる場合も多いからです。

また、「絶対誰にも言わない」と約束するのも危険です。デートDVの解決は大変難しく、他の人の応援や専門機関への相談、状況によっては警察への通報が必要となる場合もありますが、「やっと打ち明けたのに秘密を守らず、信用できない」と、その後に関係を閉ざしてしまう可能性もあります。

「つらいことを話してくれてありがとう。あなたは悪くない。あなたの力になりたい」と気持ちをくみ取ることに努め、相談機関に相談してみましょう。

そして、悩んでいる本人にも、相談できる場所があることをぜひ教えてあげてください。

デートDVは、大人、特に親には相談しにくい問題で、主な相談相手は友達です。

そのため、若者はもちろん、大人も「デートDV」について正しい知識を身につけ、普段から家庭や学校、地域で伝えていくことが、お子さんやお孫さん、そしてその友達を救うことにつながります。

みんなで、「人と人とのよりよい関係」について、一緒に考えていきましょう。

ホームページで相談

<http://www.love-ok.jp>

(デートDV防止プロジェクト・おかやま)

掲示板



電話で相談

●ウイズセンター (岡山県男女共同参画推進センター)
☎086-235-3310 火～土曜日 9:30～16:30
※祝日、年末年始はお休み

●岡山県女性相談所
☎086-235-6060 月～金曜日 9:00～16:30
※祝日、年末年始はお休み

●相談ホットライン (岡山市男女共同参画相談支援センター)
☎086-803-3366 水～月曜日 10:00～19:30
日曜日・祝日 10:00～16:30
※年末年始はお休み

●ウイズアップくらしき (倉敷市男女共同参画推進センター)
☎086-435-5670 火～土曜日 9:00～17:00
※祝日、年末年始はお休み

●DV休日電話相談 (NPO法人さんかくナビ)
☎086-227-1002 日曜日・祝日・年末年始 9:30～16:30
※平日、土曜日はお休み

※緊急時は、警察(110番)に電話してください。
(携帯電話からもかかります。)



岡山県では、デートDV防止のための資料(冊子、カード、ポケットティッシュ)を作成し、普及啓発に活用しています。

デートDV講演会



ウイズセンターでは、デートDVについて正しい理解を深め、その防止を図るため、県内の高校生や大学生などを対象に講演会を開催しています。

平成23年度は、デートDVの相談を受けているカウンセラーやDV被害者の支援をしているNPO法人の代表者などを講師に、8校で開催しました。「将来恋人ができて、お互いに尊重しあえる関係を作りたい」「デートDVで悩んでいる友人がいたら、話を聴いてあげたい」などの感想も寄せられています。

講演会開催のご希望がありましたら、ウイズセンターにお申し込みください。

連絡先：☎086-235-3307

テーマ

“平成のオンナきみまる”が伝授する
～笑顔が増えるユーモアコミュニケーション術～

講師

米津さち子さん
(ユーモアセラピスト&メイクセラピスト)

「爆笑」と書かれたTシャツを着て、会場を右へ左へ。参加者との絶妙なやりとりと、時には変顔でさらに笑いを誘いながら、「笑いの効果・重要性」について元気いっぱい話してくださった米津さんは、アパレル業界の元名物店長。2004年にメイクセラピー(化粧療法)と出会い、その後独自で体系化したユーモアセラピー(お笑い療法・ユーモアコミュニケーション)も取り入れて幅広く活躍されています。

「笑うと脳から快感や快樂をもたらす神経伝達物質のドーパミンが出て、やる気が出たり、体の痛みが消える」「ガン細胞に有効なNK(ナチュラルキラー)細胞は笑いにより活性化する」「笑いにより円満な人間関係を構築できる」など、心も体も健康にする「笑い」の効果を実証して挙げました。

30歳を過ぎてから社会貢献に目覚め、ボランティア活動を始められたそうで、デイサービスでお化粧や笑いのリハビリを提供。相手がふっと微笑むことができるよう、ユーモアを交えた声かけを実践したところ、普段はめったに笑わない高齢の女性が声を出して笑った時には、周りの人もびっくりしたそうです。

そんなエピソードを聴きながら、参加者は「お笑い作文ゲーム」に挑戦。「朝起きて…」から始まる文章を作って、次の人につないでいきます。出来上がるユニークな作文に会場はまたまた大笑い。最後に「一日一笑」「笑売繁盛」「一笑懸命」など「笑」の文字を入れた創作熟語を披露して、大笑いのうちに講座を終えました。



ウィズカレッジ 津山さん・さん塾

2012年2月4日(土)

テーマ

変わるお葬式 消えるお墓
～人口減少社会での葬送と人生の締めくくり～

講師

小谷みどりさん
(株第一生命経済研究所 ライフデザイン研究本部)
研究開発室 主任研究員

人生で避けては通れないけれど、話題にするのは少しはばかられるテーマを、関西弁で明るくさらっと、軽やかに話してくださった小谷さん。家族や周りの人に迷惑をかけず、自分らしい最期を迎えるためのヒントをたくさん教えていただきました。お話の一部をご紹介します。

念願をかなえ、美しくお別れするために

日本人独特の「ぼっくり信仰」。ぼっくり死ぬということは、いつ逝くかわからないので、その時に備えて今すぐ実行!

- ①すてきな遺影を飾ってもらえるように写真を準備する。
- ②いつ家の中を他人に見られてもよいように片付ける(生きている間に形見分け)。
- ③いつ救急車で運ばれてもよいようにきれいな下着を身につける。
- ④秘密がある人は、家族がショックを受けないように今から品行方正に生きる。

ざりとて、「ぼっくり」とはかなわぬ夢ゆえ…

現実には、病院で死を迎える人が8割以上。意識不明などで本人の意思が確認できない場合、医師は家族に延命措置(尊厳死)の判断を求める。いずれを選択しても家族は後悔するので、元気なうちに

自分で決め、紙に書き残し、常に持ち歩く財布などに入れておくのが家族への思いやり。

自分らしいお葬式をしよう

「直葬(お葬式をせず火葬のみ)」や「家族葬」などの増加は、故人や喪主の高齢化による会葬者の減少も一因。少子高齢社会では、将来親類が増える可能性はほとんどない。

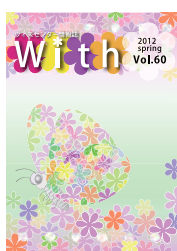
また、現在のお葬式の形式は葬儀社が考えたもので、大概は見栄と世間体で成り立っている。自分の死生観・宗教観・価値観に基づき、生前に決めておくことが大切。

- エンディングノートを活用し、死の事実を伝える人とタイミング、お葬式のスタイルなどを、生前に話し合っておく。
- お葬式も消費サービス。遠慮せずに複数の葬儀社から見積もりを取り、内容をチェックする。

人口減少でお墓はどうなる?

国の推計によると、日本の昨年の年間死者数は約126万人(参考:岡山県の現在の総人口は約194万人)。今後、死者数は年々増え続けるが、一方で出生数は減り続けるので、お墓は増えても守る人がいなくなる。

現代は生まれ育った土地で一生を終える人は少なく、子どもや孫がいるから安心という時代ではない。また、家族のあり方も複雑・多様化しており、「〇〇家の墓」にこだわると必ず破綻する。無縁墓にならないよう、血縁を超えたお墓や供養のあり方(合葬や永代供養など)を考える必要がある。



今号の表紙

デザイン: 石田莉奈さん (専門学校岡山情報ビジネス学院 CGマンガ学科 CGデザインコース)

(作品のコンセプト)

背景を緑色とピンクのグラデーションにすることで花畑をイメージし、全体を淡い色合いにすることで春らしさを出しました。

蝶の羽を白ではなく花柄にすることで透明感を出し、蝶が優雅に飛んでいる姿をイメージしてデザインしました。

ウィズライブラリー ～新着図書より～



『これからの日本のために「シェア」の話しよう』

・三浦展 著
・NHK出版
(2011年)

これからの日本社会にとって有効なシェア型の価値観や行動、すでに拡大し始めたシェア型の消費やビジネスの最新事情のレポート。



『コシノ洋装店ものがたり』

・小篠綾子 著
・講談社
(2011年)

国際的なファッションデザイナー、コシノ三姉妹を女手ひとつで育てた大阪・岸和田の肝っ玉母さんの物語。



『おひとりさまの終活 自分らしい老後と最後の準備』

・中澤まゆみ 著
・三省堂
(2011年)

人生100年時代を最期まで自分らしく生き抜き、終えるために介護対策から葬送まで、準備すべきことを提案。

映画のつどい

4月～8月の上映予定



◇4月26日(木)
「愛を乞うひと」

◇5月24日(木)
「山下清物語 裸の大將放浪記」

◇6月28日(木)
「風と大地と梨の木と」

◇7月26日(木)
「海角七号 君想う、国境の南」

◇8月23日(木)
「青葉学園物語」

「映画のつどい」はお申し込みなしでご参加いただけます。

当日の開始時間（いずれも13時30分から）までに、ウィズセンター会議室へお越しください。ご参加をお待ちしています。

※やむを得ず上映作品が変更になることがありますので、ご了承ください。

交流サロンからこんにちは

自由な交流スペース「交流サロン」を例会やミーティングに活用しているグループを紹介します。



◇おかやま女性国際交流会◇

昭和60年から平成8年まで行われた岡山県女性海外派遣団に参加したメンバーで構成する「おかやま女性国際交流会」は国際交流と男女共同参画の推進を柱に交流と学習を進めています。

グループの活動内容は？

春の総会、秋の交流会を中心に会員同士の交流を図っています。ウォールドルフ募金を設け、南オーストラリア州の小学校へ寄付をしたり、岡山県国際団体協議会にも加入し、国際交流・貢献への活動を進めています。

メンバーはどんな方々？

岡山県が実施した海外派遣事業に参加したメンバーに平成18年からの自主研修に参加した8名を加えた、パワーあふれる女性たちです。



交流サロンでのミーティング風景

今日はどのような会合？

今年、二年に一度実施している海外自主研修を行う予定で、その行き先を検討しています。

「交流サロン」利用の感想は？

月例会場として、無料でお借りでき、資料も備えられているので、大変助かっています。

ウィズセンターにひとこと

いつも気持ちのいい空間を提供していただき、感謝しています。

もっと多くの利用者が来られればと望みます。



国際的な視野を持って活躍している会員の皆さん

やってみよう!

3択式 男女共同参画クイズ

Q1

オリンピックで女子のマラソンが採用されたのは？

- A ロサンゼルスオリンピック (1984年 森末慎二が体操男子鉄棒で金メダル)
- B モントリオールオリンピック (1976年 14歳のコマネチが体操女子で大活躍)
- C ミュンヘンオリンピック (1972年 バレーボール全日本男子が金メダル)

Q2

昨年、3人の女性ノーベル賞受賞者が誕生しましたが、その出身地域は？

- A ヨーロッパ・オセアニア
- B アジア・アフリカ
- C 北アメリカ・南アメリカ

クイズの答えは、裏表紙をご覧ください。

インフォメーション

もう一度働きたい「あなた」、
まず一歩踏み出してみませんか

女性限定! 22日で 資格が取れる!無料!! **キャリアアップ講座 受講者募集**

再就職を希望する女性を対象に、「働く前に知っておきたいワークライフセミナー(4日間)」と「エクセル検定3級合格を目指したパソコン講座(18日間)」を開催します。

- 1 応募資格 結婚・出産・育児・介護等でいったん仕事を中断し再就職を希望する女性で22日間出席できる方
- 2 受講料 無料(教材費・検定受験料は実費負担)
- 3 定員 15名(選考により決定)
- 4 申込方法 受講申込書を申込受付期間に郵便でウィズセンターにお送りください。
※受講申込書は4月以降、県内のハローワークや各地区会場の窓口等で配布します。また、ウィズセンターのホームページからダウンロードできます。



	申込受付期間	受講期間	会場
岡山地区	平成24年 4月27日(金)~5月10日(木)	平成24年5月29日(火)~7月4日(水) 期間内の火~金曜日(22日間) 10:00~16:00	アビリティ編 岡山県男女共同参画推進センター「ウィズセンター」 スキル編 岡山市内(会場未定)
津山地区	平成24年 5月12日(土)~5月25日(金)	平成24年6月13日(水)~7月19日(木) 期間内の水~土曜日(22日間) 10:10~16:00	アビリティ編・スキル編 津山男女共同参画センター「さん・さん」 (津山市新魚町17 アルネ・津山5階)
	平成24年 12月1日(土)~12月14日(金)	平成25年1月16日(水)~2月21日(木) 期間内の水~土曜日(22日間) 10:10~16:00	
倉敷地区	平成24年 8月10日(金)~8月23日(木)	平成24年9月11日(火)~10月19日(金) 期間内の火~金曜日(22日間) ※但し、祝日が月曜と重なった場合の火曜日を除く。 10:00~16:00	アビリティ編・スキル編 倉敷市男女共同参画推進センター「ウィズアップくらしき」 (倉敷市阿知1-7-1-603 天満屋倉敷店6階)

男性のための悩み相談

岡山県では、男性相談員による男性のための電話相談を行っています。

電話相談日 原則毎月第2金曜日 17:00~20:00 いつもなみゼロ
男性相談専用電話番号 **(086) 221-1270**

※相談は、電話による相談のみで、面接相談は行いません。



ウィズセンターは**土・日曜日**も開館しています。
お気軽に、お越しください。

ウィズセンターはこんなところ

- 情報提供**
 - 図書・DVD・ビデオの貸出
 - 人材情報・各種団体の活動情報の提供
 - 男女共同参画に関する資料の閲覧
- 各種講座**
 - 男女共同参画に関する各種講座の開催
- 相談**
 - 相談員による一般相談
火~土曜日(祝日を除く) 9:30~17:00
(受付は16:30まで)
 - 特別相談(予約制)
弁護士による法律相談 原則第2・4金曜日
医師によるこころの相談 原則第1・3金曜日
 - 相談専用電話 ☎086-235-3310
- 就業支援**
 - 就業に役立つ講座の実施
 - 就業に関する情報の提供
- 交流**
 - 各種団体へ活動・交流の場と機会を提供
- 広報**
 - 情報誌の発行
 - メールマガジンの配信(毎月)

開館時間 火~土曜日 / 9:30~20:00
日曜日 / 9:30~17:00

休館日 月曜日・祝日・年末年始



ウィズセンターへお越しの際は、なるべく公共交通機関をご利用ください。

ウィズ春号
(Vol. 60)

2012年3月発行

編集・発行 / 岡山県男女共同参画推進センター(ウィズセンター)
〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1
きらめきプラザ(県総合福祉・ボランティア・NPO会館)6階
TEL(086)235-3307(代) FAX(086)235-3306
Eメール: danjo@pref.okayama.lg.jp

ホームページ
<http://www.pref.okayama.jp/>
岡山県トップページ
▷組織で探す▷県民生活▷男女共同参画推進センター(ウィズセンター)

講座等のお申し込み、お問い合わせ、ご意見は、ウィズセンターへ

※P6クイズの答え: Q1...A、Q2...B

岡山県男女共同参画推進センターのホームページはこちら <https://www.pref.okayama.jp/soshiki/187/>

